

KDKセミナー2018のご案内

エネルギーをテーマに、研究・開発現場などでの技術動向に関してご講演いただくとともに、各種シミュレーションの事例を紹介します。
どなたでも参加可能です。是非お申し込みください。

- ◆日 時 / 2018年10月12日(金) 13:00~17:20 (受付開始12:30)
- ◆会 場 / 富士通九州システムズ 2F 大会議室 (東比恵ビジネスセンターII) 福岡市博多区
http://www.fujitsu.com/jp/group/kyushu/about/facilities/hq/ 東比恵1-5-13
- ◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK)
http://kdk.firebird.jp/
- ◆参加費 / 無料 ◆定員 / 100名

《スケジュール》

- 第1部 13:00~14:35** 【司会：佐賀大学 萩原先生】
- 13:00~13:05 ◇開会挨拶 KDK会長 佐賀大学 教授 萩原 世也
- 13:05~13:50 ◇基調講演 共同利用・共同研究拠点
佐賀大学海洋エネルギー研究センター長 教授 永田 修一 様
- 「海洋エネルギーの利用技術の開発」
- 13:50~14:35 ◇特別講演1 九州大学大学院工学研究院機械工学部 教授 北川 敏明 様
- 「自動車用ガソリンエンジンの燃焼技術について」
- (休憩 14:35~14:45)
- 第2部 14:45~17:20** 【司会：黒崎播磨株式会社 神尾 様】
- 14:45~15:25 ◇特別講演2 株式会社富士通九州システムズ 深町 幸士朗 様、南 康雄 様
- 「IoTで支援する生産性向上および労働安全対策」
- (1) エンジニアリングIoTで実現する次世代モノづくり
- (2) スマート安全帯による安全帯使用状況の見える化
- 15:25~15:50 ◇事例紹介1 福岡県工業技術センター機械電子研究所 高宮 義弘 様
- 「CAE支援ラボの拡充整備及び振動試験システムの紹介」
- 15:50~16:15 ◇事例紹介2 SCSK株式会社 プラットフォームソリューション事業部門 森谷 隆之 様
- 製造エンジニアリング事業本部 解析ソリューション第二部 第二課
- 「データ分析・最適化ソリューション pSeven によるCAE/実験データの最大活用」
- (休憩 16:15~16:25)
- 16:25~16:50 ◇事例紹介3 日本イーエスアイ株式会社 渡辺 皆夫 様
- Systems&Platform ソリューション部
- 「SimulationXを活用したMBD事例」
- 16:50~17:15 ◇事例紹介4 計測エンジニアリングシステム株式会社 福川 真 様
- 「COMSOL Multiphysics®を用いたリチウムイオン電池の解析および全固体リチウム電池への応用例」
- 17:15~17:20 ◇アンケート記入

懇親会 18:00~ 会費 4,000円 場所:博多いねや Tel 050-3463-6481 博多区博多駅中央街6-17, 1F

- ◆駐車場は準備しておりませんので、お車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。
- ◆お申し込みは、下記申込書にてFAX、またはメールにてどうぞ。
- ◆申し込み期限は 10月10日
- ◆お問い合わせは 九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 山口(アイグラフ) まで
TEL 093-644-2397 FAX 093-644-2398 E-mail: ig01yama@nifty.com

有限会社アイグラフ 山口 行 FAX 093-644-2398 〈申込み締切り10/10〉

「KDKセミナー」申込書

事業所名		電話番号	
住 所		FAX番号	
氏 名		懇親会	出席 欠席

講演概要

◇基調講演

共同利用・共同研究拠点
佐賀大学海洋エネルギー研究センター長
「海洋エネルギーの利用技術の開発」

教授 永田 修一 様

【概要】

波力発電、潮流発電、海洋温度差発電、洋上風力発電等の海洋エネルギーを利用した発電技術について、佐賀大学海洋エネルギー研究センターで実施中の研究を中心に紹介する。また、センターで開発中の、波力発電の性能評価のためのシミュレーション技術について紹介する。

◇特別講演1

九州大学大学院工学研究院機械工学部門
「自動車用ガソリンエンジンの燃焼技術について」

教授 北川 敏明 様

【概要】

昨今、電気自動車や燃料電池自動車が注目されていますが、自動車用動力源としてガソリンエンジンは今後長きにわたり重要な役割を果たすものと考えています。台所のガスレンジなど燃焼は身近な現象ですが、依然として不明な点も多くエンジンなどでは自由に制御できるような技術も確立されていません。このガソリンエンジンの燃焼技術についての変遷と技術動向について、燃焼についての基礎研究を行っている研究者の視点からお話しします。

◇特別講演2

株式会社富士通九州システムズ
「IoTで支援する生産性向上および労働安全対策」
(1) エンジニアリングIoTで実現する次世代モノづくり
(2) スマート安全帯による安全帯使用状況の見える化

深町 幸士朗 様、南 康雄 様

【概要】

富士通九州システムズでは、設計工程と生産工程をつなぎ「経営の見える化」「リアルタイム保全」を実現するサービス群を開発し、エンジニアリングIoTと名付け販売を開始しています。また、センサ付き安全帯を活用し安全情報の見える化を実現するソリューション「スマート安全帯ソリューション」を開発し、遠隔地の作業員の安全をクラウド上で収集、管理するサービスの提供を開始しています。本講演では、このエンジニアリングIoTサービス、スマート安全帯ソリューションをご紹介します。

◇事例紹介1

福岡県工業技術センター機械電子研究所
「CAE支援ラボの拡充整備及び振動試験システムの紹介」

高宮 義弘 様

【概要】

福岡県工業技術センター機械電子研究所では、平成29年度地方創生拠点整備交付金を活用したCAE支援ラボの拡充整備、JKA補助による振動試験システムの導入を行いました。本発表ではこれらの紹介と共に振動試験システムと解析の活用事例をご紹介します。

◇事例紹介2

SCSK株式会社 プラットフォームソリューション事業部門
製造エンジニアリング事業本部 解析ソリューション第二部 第二課
「データ分析・最適化ソリューション pSeven によるCAE/実験データの最大活用」

森谷 隆之 様

【概要】

pSevenは独自の機械学習アルゴリズムにより、数値解析結果・計測データから予測モデルを構築するためのプラットフォームです。本セッションでは、1D、3D CAEソフトウェアの結果と実験データを用いて、製品設計・研究開発に対して、データ分析・最適化を活用する方法についてご紹介致します。

◇事例紹介3

日本イーエスアイ株式会社
Systems&Platform ソリューション部
「SimulationXを活用したMBD事例」

渡辺 皆夫 様

【概要】

近年、上流設計の実現として注目を浴びているModel Based Development/Design (MBD)について、ESI-Groupが提供する0D/1Dツール:SimulationXの概要及びエネルギーの観点から行った活用事例をご紹介します。

◇事例紹介4

計測エンジニアリングシステム株式会社
「COMSOL Multiphysics®を用いたリチウムイオン電池の解析および全固体リチウム電池への応用例」

福川 真 様

【概要】

近年、リチウムイオン電池は高出力・高容量の蓄電池であることから自動車の新しい動力源として期待されており、世界中で研究開発が行われています。その新しい開発プラットフォームとして有限要素解析ソフトウェアであるCOMSOL Multiphysics®を提案します。COMSOL Multiphysics®を用いたリチウムイオン電池の解析事例とリチウムイオン電池開発におけるCOMSOL Multiphysics®の活用方法をご紹介します。